

平成 23 年 11 月 29 日

各 位

会社名	国際石油開発帝石株式会社
代表者名	代表取締役社長 北村 俊昭 (コード番号 1605 東証第一部)
問合せ先	広報・IR エグゼクティブ・マネージャー 橘高 公久
電話番号	03-5572-0233

カナダ シェールガス開發生産プロジェクト ネクセン社（カナダ）からの鉱区権益取得について

国際石油開発帝石株式会社（以下、当社）は、日揮株式会社と共同で設立するカナダ・ブリティッシュ・コロンビア州法人 INPEX Gas British Columbia Ltd.を通じて、カナダの石油・天然ガス開発会社ネクセン社がカナダ・ブリティッシュ・コロンビア州北東部のホーンリバー、コルドバおよびリアードの各地域に保有するシェールガス鉱区（ネクセン社が 100%の権益を保有）に関し、このたび、ネクセン社との間で、各鉱区の 40%の権益を取得することについて基本合意に達しましたので、お知らせいたします。

本件は、当社にとって初のシェールガス開發生産プロジェクトへの参画となります。

なお、今回の権益取得は、カナダの規制当局の承認など権益譲渡契約上の先行条件の充足が契約発効のための条件となります。



ホーンリバーにおける生産プラント

ホーンリバー、コルドバおよびリアードの各地域の鉱区は、カナダ西部カルガリー市の北北西約1,000kmに位置する既発見未開発のシェールガスが胚胎する鉱区であり、鉱区面積はホーンリ

バー366 km²、コルドバ333 km²およびリアード517 km²です。うち、ホーンリバー地域の鉱区では、既に日量50MMscf（原油換算で日量約 8,000 バレル）の生産を開始しております。今後、ホーンリバーおよびコルドバ両地域の鉱区で本格的な開発作業を進め、両鉱区合計で日量最大1,250 MMscf（原油換算で日量約 200,000バレル）規模の生産を目指します。なお、リアード地域の鉱区についても、シェールガス開發生産に向けて作業を進めてまいります。

本プロジェクトへの参画は、当社にとって初のシェールガス事業への進出となりますが、当社が国内外で積み重ねてきた石油・天然ガスの探鉱・開発・生産のノウハウを活用し、本プロジェクトへ具体的に貢献すべく、本プロジェクトに対して当社専門家を派遣する予定であり、シェールガスプロジェクトに係る探鉱・開発段階から生産段階に至る一連の事業プロセスに積極的に関与してまいります。

当社は、成長戦略の一つとして上流事業の持続的拡大を追求しており、本プロジェクトへの参画は当社の天然ガス資産ポートフォリオの更なる拡充に資するものと考えております。また、これを機に、シェールガスに関する知見とノウハウを蓄積し、他のシェールガスプロジェクトの新規案件の追求等、今後も非在来型炭化水素資源の開発に積極的に取り組んでまいります。

なお、本件による業績への影響は軽微であります。

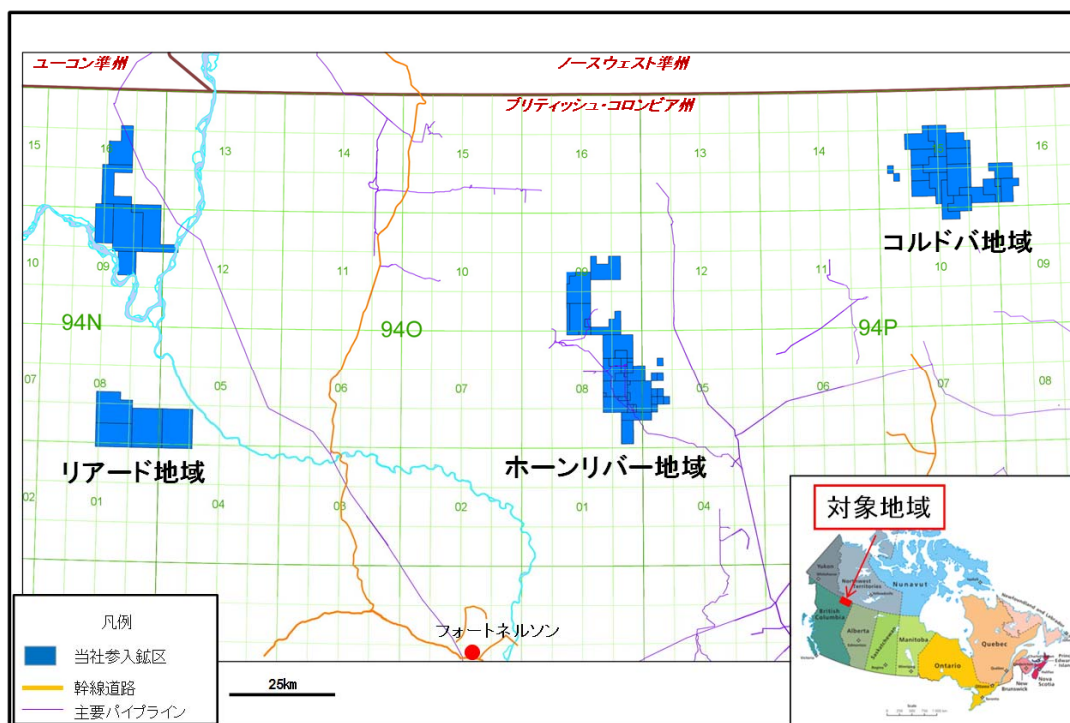
以上

「補足・関連情報」

< 鉱区概要 >

鉱区(面積)	1. ホーンリバー(366 km ²) 2. コルドバ(333 km ²) 3. リアード(517 km ²)
権益比率	ネクセン社 60%（オペレーター） INPEX Gas British Columbia Ltd.※ 40% ※出資予定比率：当社 82%、日揮㈱のカナダ法人子会社 18%
鉱区位置	カナダ・ブリティッシュ・コロンビア州北東部 カルガリー北北西約 1,000 km

< 鉱区位置図 >



< ネクセン社の概要 >

名称：ネクセン
Nexen Inc.

本社：カナダ アルバータ州 カルガリー

代表者：マービン ロマノウ
Marvin Romanow (社長／ CEO)

沿革：1971年 アメリカの独立系石油会社オキシデンタル・ペトロリウム (OXY) の子会社 カナディアン・オキシデンタルとして設立。
2011年 Nexen Inc.に改名し株式を公開。

従業員数：約 3,900 名

主な事業：北海、西アフリカ、カナダ、メキシコ湾などでの石油・天然ガス、シェールオイルおよびシェールガスの開發生産事業。

< シェールガスとは >

非在来型天然ガスの一種です。在来型天然ガスといわれる従来のガス田の場合と異なり、硬いシェール（頁岩）層にガスが含まれています。採取するためには、水平坑井を掘削し、水圧破砕法によってシェール層へ人工的にガス採取用の割れ目を作りガスを採掘します。近年はこれらの採掘技術の進歩などにより特に北米地域においてシェールガス生産量が飛躍的に向上し、シェールガスへの注目が高まっています。